

令和4年5月11日

市内小中学校 校長 殿
保護者の皆様

うるま市教育委員会
教育長 嘉手苺弘美
(公印省略)

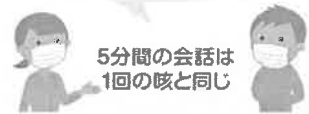
学校における新型コロナウイルス感染症対応〈令和4年度第2号〉 ～マスク着用についての確認～

沖縄地方ではゴールデンウィーク中に梅雨入りし、雨に映えるイジユの白い花が美しい季節となりました。各家庭におきましては、これまでと同様に新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力くださるようお願い致します。令和4年4月13日の県教育委員会から周知された「学校の新しい生活様式 Ver.8(文科省)」の感染対策(P40、58)に基づき、マスク着用について確認致します。ご理解とご協力をお願い致します。

○マスクの着用について(基本的な対応)

会話をするときはマスクをつけましょう。身体的距離(できるだけ2m、最低1m)がとれないときはマスクを着用します。ただし、学校の教育活動や児童生徒のようすを踏まえて以下のとおり臨機応変に対応していきます。

会話をするときは
マスクをつけましょう!



5分間の会話は
1回の咳と同じ

1. 十分な身体的距離(2m以上)が確保できる場合は、マスクの着用を特に求めません。

2. 気温・湿度や暑さ指数(WBGT)が高い日には熱中症などのおそれがあるため、マスクを外してください。

※ 暑さ指数(WBGT)はQRコードから確認できます。



暑さ指数(那覇)

(1) 熱中症は命にかかわる危険があるので、熱中症への対応を優先させてください。

(2) 児童生徒本人が暑さで息苦しいと感じた時などには、マスクを外したり、一時的に片耳だけかけて呼吸したりするなど、自身の判断で適切に対応できるように教師、保護者は声かけをしてください。

(3) 上記の対応をしている場合は、各家庭や地域のハイリスク者(高齢者や基礎疾患を有する人)との接触をさけてください。また、地域の自治会・敬老会等に知らせ、子供の命を守る対応であることの理解を求めてください。

3. 体育の授業では、マスクの着用は必要ありません。ただし、次の場合が重なるときはマスクを着用します。

- ・十分な身体的距離(できるだけ2m、最低1m)がとれないとき。
- ・呼吸が十分にできる。
- ・熱中症になるおそれがない。

4. 登下校時に暑さ指数(WBGT)が高い場合で、野外で他の人と十分な距離を確保できる場合はマスクを外すよう声かけしてください。

※特に自分でマスクを外してよいか判断ができない小学校低学年の児童には積極的に声かけをしてください。その際、人と十分な距離をとり、会話を控えることもあわせて伝えてください。